

「挑戦」と「学び」

 <p>おてつだいのくふうを試してみた。おてつだいで、かぞくをよるこぼせることができた。</p>	 <p>調べたことがうまく伝わるよう、写真や話す内容を工夫して発表した。</p>	 <p>3年 総合的な学習の時間 志免町のきらりさん</p>
1年「じぶんで できるよ」	2年「大すき！しめまち」	3年「志免町のきらりさん」
 <p>課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んだ。</p>	 <p>学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができた。</p>	 <p>6年 総合的な学習の時間 志免町 Power Up プロジェクト</p>
4年「広がれ笑顔」 志免町ニコニコプロジェクト	5年「守ろう！地域の安全」 We are 防災ファイターズ	6年「志免町 Power Up プロジェクト」

本日、後期前半おわりの会を実施しました。私から中央っ子へお話しした内容は、「中央っ子が苦手と感じている『学級・学校・地域がさらによくなるようにアイデアを出し、行動すること』に、少しでも自信をもつことができるよう、中央っ子は保護者や地域の方々と一緒に学びを広げたり深めたりしてきました。」ということです。実は、「学校・地域がさらによくなるようにアイデアを出し、行動することができますか。」という質問項目が6年生対象に実施する全国学力・学習状況調査の児童質問紙にあります。本校児童の数値を少しでも伸ばしたいと思い、保護者や地域の方々との協働による教育活動を実施しました。今、急速に社会が変化し予測困難な時代であると言われていますが、そんな社会でも幸せに生きるためには、日々の生活の中で「挑戦」「学び」「感謝」「休息」が必要と言われていています。後期前半に特に取り組んだことは「挑戦」「学び」でした。令和7年1月からは、「感謝」に取り組みます。また、後期前半の取組で明らかになった課題は、「子供主体となる学びにするためには、学びの最終像を授業者と子供が共有し、一緒に学習計画をつくること」でした。そこで、7つの習慣（スティーブン・R・コヴィー）にもごぞいませ「2 終わりを思い描くことから始める」を教師も子供たちも意識してやってみよう、と考えています。保護者の皆様、地域の皆様、本校の教育活動にご協力くださり、ありがとうございました。よいお年をお迎えください。

「学びポケット」の取り扱いについてお願い

学校から児童・保護者へのお知らせツールとして、「学びポケット」を活用しています。学校から発信するお知らせは、保護者の皆様への大切な情報共有の手段であり、児童の安全や教育活動を円滑に進めるためのものです。第三者との共有や SNS への投稿はお控えくださいますよう、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。